

工大 広報

Tohoku Institute of Technology Magazine

No. **315**
2024.10 AUTUMN

東北工大の「いま」と「ミライ」が分かるマガジン



未来のエスキースを描く。

特別企画

時代を担う人材を送り続けて
東北工業大学は創立60周年

特集

LABORATORY REPORT 研究室通信

低炭素社会と省エネを目指す
材料・デバイスの創製研究

工学部 電気電子工学科
下位 法弘 教授

環境負荷を低減するための
法制度や社会システムを考察

ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科
小祝 慶紀 教授

CONTENTS

P12 【TOPICS】 地域連携センター

P13 【TOPICS】 研究支援センター

P14 【TOPICS】 第39回総合定期戦を開催

P16 【TOPICS】 「OPEN CAMPUS 2024」を開催

P18 【TOPICS】 令和6年度東北工業大学奨学生について

P19 【Information】 10~12月の一番町ロビー催事案内



2024 TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY
60th ANNIVERSARY

60th Anniversary Special

時代を担う人材を送り続けて 東北工業大学は創立60周年

今年4月に創立60周年を迎えた東北工業大学は、さらなる革新の未来へ向けて躍進していきます。

Special 1

60周年を迎えて

「わが国、特に東北地方の産業界で指導的役割を担う高度の技術者を養成する」ことを建学の精神とする本学は、これまで約39,400人の学士、約800人の修士、約50人の博士を輩出し、まさに産業界を支える人材供給拠点となっています。活躍する卒業生・修了生諸兄姉に心からの感謝と敬意を表明いたします。

本学のこれまでの歩みは別ページに譲るとして、ここではこれからのことを紹介したいと存じます。

まず今年度、大学院工学研究科に環境応用化学専攻を、そして建築学部と連結して建築学研究科を開設しました。また永らく建築学科、工業意匠学科(現：産業デザイン学科、生活デザイン学科)等の学生・教職員が過ごした、八木山キャンパス5号館の建て替えを実施いたします。去る6月29日には、60周年記念ホームカミングデー「ありがとう5号館・さよなら5号館」を開催し、卒業生のみならず名誉教授の先生方、八木山ご近隣の方々とともに、名残を惜しんだところです。

2025年には、工学部4学科の課程制移行とライフデザイン学部経営コミュニケーション学科の経営デザイン学科への名称変更を予定しています。教育プログラムも改訂し、「専門+α」の人材育成を始めます。またさらなる大学院改革の議論も進めているところです。

科学技術の急進や社会・環境の変化に機敏に対応し、試行錯誤を許容しながらひろく学び知をつなぐ、「未来のエスキースを描く。」東北工業大学であり続けたいと存じます。今後ともご支援のほど、お願い申し上げます。

渡邊 浩文



私が4年、息子が6年、建築学科でお世話になりました。卒業時に同じ場所で記念撮影しました。



K.S.さん
平成4年
建築学科卒業

創立60周年誠におめでとうございます。更なる進化をご祈念いたします。



M.S.さん
平成11年
土木工学科卒業



T.S.さん
平成30年
環境エネルギー学科卒業

60周年おめでとうございます。工大で出会った仲間と過ごした日々はわたしの青春です! 充実した日々を過ごせて幸せでした。

高校から工大高校でしたので、7年間八木山へ通学しました。工大に感謝!!



T.F.さん
平成13年
建築学科卒業

在学当時のお写真をお借りました!

Special 2

卒業生のみなさん

思い出を

教えてください!

講義中の友人とのしょうもない会話や、先生方との雑談(+うるさいとお叱り…笑)が意外と一番思い出深いです。



K.S.さん
平成24年
知能エレクトロニクス学科卒業

社会で活躍中のOB・OGの皆さんに、かけがえのない学生時代を振り返ってもらいました。



W.S.さん
令和6年
生活デザイン学科卒業

60周年おめでとうございます。大学で出会えた人との繋がりは一生物です!

T.W.さん
昭和56年 土木工学科卒業

秀峰寮での4年間はその後の人生の架け橋になりました。

A.T.さん
平成9年 通信工学科卒業

創立60周年を迎えられ心よりお祝い申し上げます。在学時代に学んだことは今なお、職務での様々な課題解決に役立っており、大変感謝しております。

大学時代の経験や知識は、卒業後の現在でも役に立っていると感じます。あっという間の4年間でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。

M.T.さん
平成29年 環境エネルギー学科卒業

5号館で過ごした年月は濃密でした。仲間とコンペに挑戦したり、設計に対する自覚と覚悟が生まれた場所です。卒業生、教職員の想いが連鎖した60周年、おめでとうございます。

H.N.さん
昭和51年 建築学科卒業

他にもたくさんの「思い出」コメントをいただきました!

入学当初はコロナ禍で大学に行く機会は少なかったのですが友人やサークルのメンバーと過ごした大学生活はとても楽しかったです! 60周年おめでとうございます!

T.K.さん
令和6年 電気電子工学科卒業

短期研修や学会報告で海外に何度行った経験がとても印象深いです。

T.I.さん
平成31年 電気電子工学科卒業

60周年おめでとうございます! 野球部がんばれ! 優勝期待してます!

M.I.さん
平成18年
通信工学科卒業

5号館屋上から八木山の街並み太平洋を見下ろすロケーションは工大の宝でしたね。

O.N.さん
昭和59年 建築学科卒業

祝還暦。卒業生は老いても、年々進化し続ける母校が誇らしいです。

S.T.さん
平成21年
デザイン工学科卒業

工大History

設立の経緯に始まり、開学からこれまでの歩みを、当時の写真とともに年表でご紹介します。



1号館

- 1964 ● 東北工業大学開学
- 1号館竣工
- 初代学長に宮城 音五郎 氏就任
- 電子工学科、通信工学科設置

- 1965 ● 2号館竣工

- 1966 ● 建築学科設置
- 3号館竣工

- 1967 ● 土木工学科、工業意匠学科設置
- 4号館竣工
- 大学体育館竣工



4号館

- 1968 ● 第2代学長に内田 英成 氏就任
- 大学総合グラウンド完成
- 5号館落成式



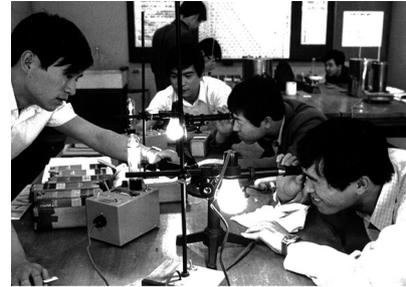
工大広報第1号

- 1969 ● 「工大広報」第1号発刊
- 6号館竣工

- 1980 ● 新3号館竣工

- 1983 ● 7号館竣工

- 1984 ● 第5代学長に虫明 康人 氏就任
- 大学創立20周年記念講演会を開催



授業風景

- 1985 ● 8号館竣工

- 1986 ● 北海道工業大学(現:北海道科学大学)とのスポーツ交流定期戦発足



定期戦

- 1989 ● 第6代学長に岩崎 俊一 氏就任



岩崎 俊一 氏



- 1974 ● 第3代学長に菊地 喜充 氏就任
- 10周年記念式典

- 1976 ● 第4代学長に木村 瑞雄 氏就任

- 1978 ● 宮城県沖地震発生

- 1990 ● ニツ沢キャンパス設置
- ニツ沢キャンパス1号館竣工
- ニツ沢キャンパスクラブ棟竣工

- 1992 ● 大学院工学研究科修士課程(通信工学専攻、建築学専攻、土木工学専攻)設置

- 1993 ● 大学院工学研究科修士課程(電子工学専攻)設置

- 1994 ● 大学院工学研究科博士課程(通信工学専攻、建築学専攻)設置

- 1995 ● 大学院工学研究科博士課程(電子工学専攻、土木工学専攻)設置

- 1997 ● ニツ沢キャンパス2号館竣工



ニツ沢キャンパス



課外活動の様子



周辺地域



香澄町キャンパス

2000 ● 大学院工学研究科修士課程(デザイン工学専攻)設置

2001 ● 環境情報工学科設置
● 香澄町キャンパス工場棟竣工

2002 ● 大学院工学研究科博士課程(デザイン工学専攻)設置

2003 ● 「創造から統合へ」-仙台からの発進-をユニバーシティーズローガンに掲げる
● 香澄町キャンパス9号館、10号館竣工
● 工学部土木工学科を建設システム工学科に、
工学部工業意匠学科をデザイン工学科に名称変更
● 大学院工学研究科修士課程、博士課程(環境情報工学専攻)を設置
● 東北工業大学一番町ロビー設置

2004 ● ニツ沢キャンパス第2クラブ棟竣工
● 工学部通信工学科を情報通信工学科に名称変更

2006 ● 香澄町キャンパス新1号館竣工

2007 ● 工学部電子工学科を智能エレクトロニクス学科に名称変更

2008 ● ニツ沢キャンパス3号館竣工
● 第7代学長に沢田 康次 氏就任
● 香澄町キャンパスを八木山キャンパスに、
ニツ沢キャンパスを長町キャンパスに名称変更
● 長町キャンパスにライフデザイン学部を設置
● クリエイティブデザイン学科・
安全安心生活デザイン学科・
経営コミュニケーション学科設置



長町キャンパス

2010

2000

2020

2020 ● 新型コロナウイルス感染症の流行
● 工学部環境応用化学科 設置、
建築学部建築学科 設置

2021 ● 第10代学長に渡邊 浩文 氏就任
● 2020年に中止となった入学式の
代替イベント「2020-21~PRIDE of
2nd year~」を実施

2022 ● ブランドスローガン
「未来のエスキースを描く。」制定
● 八木山キャンパス実験・教育棟
Tech-Lab竣工

2023 ● ブランディングプロジェクト開始

2024 ● 東北工業大学創立60周年記念
ホームカミングデー開催
● 大学院建築学研究科
建築学専攻博士(前期)・
博士(後期)設置
● 大学院工学研究科
環境応用化学専攻博士(前期)・
博士(後期)設置



仙台駅の大型フラッグ

2011 ● 東日本大震災
● 工学部建設システム工学科を都市マネジメント学科に名称変更
● 復興大学(主幹大学 東北工業大学)四事業が文部科学省から採択

2012 ● 工学部環境エネルギー学科を設置
● 大学院ライフデザイン学研究科デザイン工学専攻設置

2013 ● 長町キャンパス4号館竣工
● 第8代学長に宮城 光信 氏就任

2014 ● 東北工業大学創立50周年記念式典・記念講演会・祝賀会
● 八木山キャンパス新クラブ棟竣工

2015 ● 両キャンパス・地下鉄八木山動物公園駅を循環する
八木山シャトル運行開始

2016 ● 第9代学長に今野 弘 氏就任

2017 ● 工学部知能エレクトロニクス学科を電気電子工学科に名称変更

2018 ● 東北SDGs研究実践拠点を設置

2019 ● プロジェクト研究所設置



実験・教育棟Tech-Lab(てくらぼ)



シャトルバス

LABORATORY REPORT

研究室通信 Vol.29

工学部 電気電子工学科

しもい のりひろ

下位 法弘教授

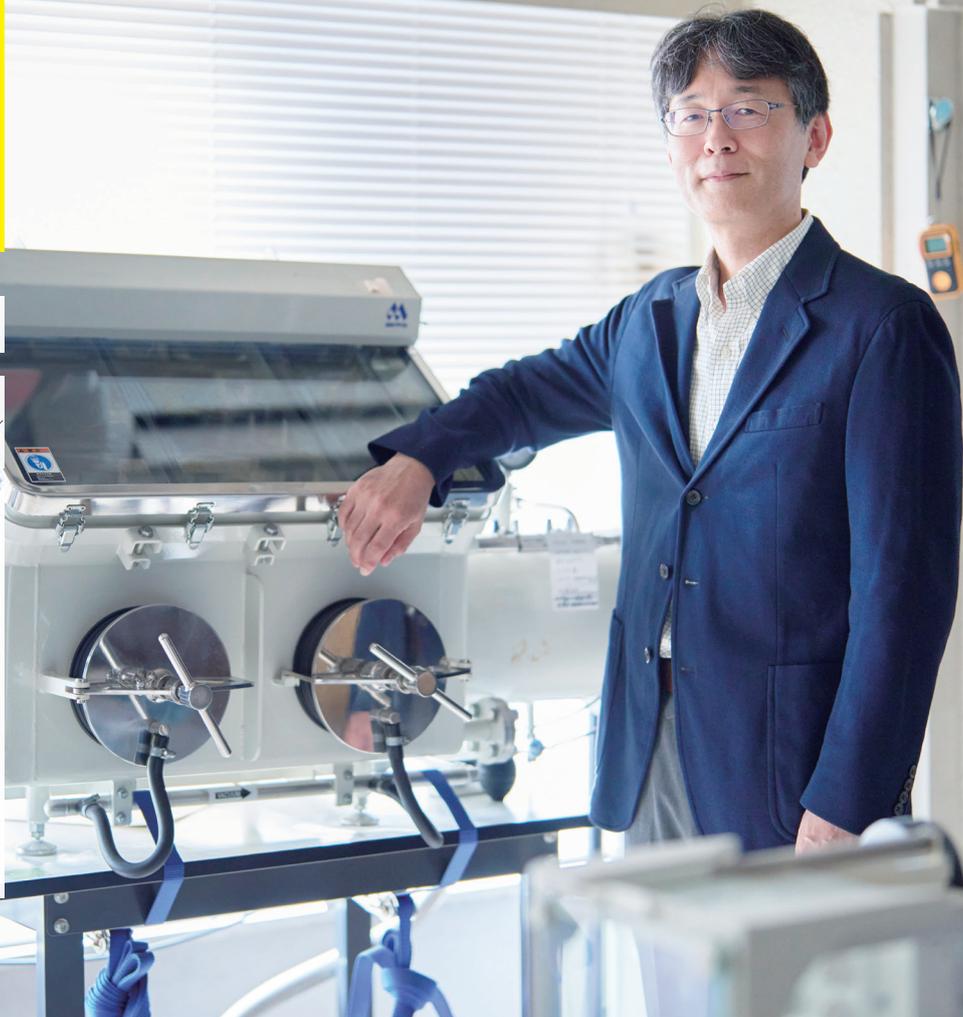
Shimoi Norihiko

PROFILE

1994年に東北大学工学部応用物理学科卒業。同大修士課程を経て、工学研究科応用物理学専攻博士前期を1996年に修了。2010年に工学研究科金属フロンティア工学専攻博士後期を終了し、博士(工学)の学位を取得。1996年~2011年に、ソニー株式会社で主任研究員として勤務。2011年から東北大学大学院環境科学研究科の助教、2014年から環境科学研究科の准教授を務め、2020年に本学の教授に就き、現在に至る。

担当科目

電気数学I及び同演習、電気電子工学セミナー、電気電子工学研修、電気電子工学実験



【研究テーマ】

低炭素社会と省エネを目指す 材料・デバイスの創製研究

地球環境の負荷を低減するために今、何ができるのかを自らに問いかけながら、「蓄電デバイス・システムと真空ナノエレクトロニクスデバイス」に関する研究に日夜心血を注いでいる下位先生。その目線の遥か先には、自然と共生する社会を実現した人々の幸せを思い描いています。先進的で便利な機器を開発することが最終目的ではなく、技術の革新が現代社会の問題を解決する糸口となることを願いながら、これからの未来を担う学生たちの指導にも当たっています。



下位研究室の様子

先端科学への学究を深めながら 後進を育てる教員の道へ

—— 子どもの頃どんな将来像を描いていましたか。

機械いじりが好きな子どもでしたが、高校までは将来どんな職業に就きたいか特に考えたことはありませんでした。大学進学を考える際、当時一番人気があった学問分野に進もうと選んだのが東北大学工学部の応用物理学科でした。そんな軽い動機で入学したんですが、物理学の理論を先進技術に応用する応用物理学の面白さに開眼し、興味がどんどん深まっていきました。

—— 教鞭を執る道に進んだきっかけとは。

社会人ドクターとしてソニーに勤務していた時期、博士課程の指導教官だった教授から、人に教える職業に向いていると言われたことがありました。また、ソニーの研究員時代、開発チームのプロジェクリーダーを務める機会が多かったので、後進を指導・育成することにやりがいを感じており、教員となる将来を考えるきっかけになりました。実際に本学の学生たちと交流する中で、研究活動に限らず日常生活でも新鮮な考え方に触れる良い経験が得られていると感じています。

蓄電システムや機器の革新で 環境負荷の低減を目指して

—— 現在取り組んでいる研究とは。

スマートフォンなどに内蔵されているバッテリーのような、充電と放電を繰り返して使用できるリチウムイオン二次電池などの材料、その運用のためのアプリケーションの開発までを研究の対象としています。また、微小な真空空間に低い電圧で安定して電界放射電子源を動作させる真空ナノエレクトロニクス技術において、エネルギー損失をゼロにする高機能性エレクトロニクス材料を生み出し、その材料を用いた電子デバイスの高性能化、実用化を目指しています。現在、企業との共同研究で、カーボンナノチューブを電子源とするX線管をよりコンパクトにしながら、省エネ化を目指す開発に取り組んでいるところです。

—— 研究の方向性を決めたいきっかけは何か。

学生時代に、半導体など先端のテクノロジーに通ずる応用物理学を学ぶ面白さを感じたことを出発点に、先進的な技術を創生して開発に注力する道を歩んできました。しかし、東北大学大学院環境科学研究科の教員として招かれた際、ただエネルギーを消費するだけでは社会の課題解決には結びつかないと気づかれ、材料作成から着手することで環境負荷を軽減させるようなデバイスを開発するアプローチこそが有効なのではないかと考えたことがターニングポイントになりました。

—— どんな研究成果を目指していますか。

最終的に、どのように社会へ貢献することができるか、研究の行き着く先を常にイメージしながら取り組んでいます。学生たちにも、その行為が何の役に立つのか、どのような方向性を持って取り組むべきか、自身の中でしっかり目的意識を持つよう指導しています。

—— テーマや発想はどのように得ていますか。

ある日突然、ひらめきが天から降りてくるというような経験をしたことはありませんが、頭の中で温めてきた理論やアイデアが、突然役に立つタイミングにめぐりあうことが多々あります。思いついたことを日記のような感覚でノートに記しておくのが習慣になっているので、それが後々研究を進めるヒントになったこともありました。また、一本道で話しているよりも、いろいろ脱線しながら口にしたわいもない話題が、新たな発想を生むきっかけにもなっています。



今までうまくいかなかったことが90度全く違うベクトルでアプローチしたら、すんなり成功してしまったこともありました。そういう思いがけない道のりこそ楽しさや醍醐味を感じています。

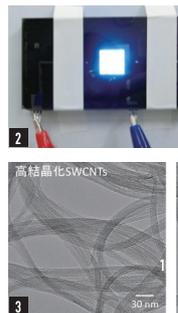
これから先を描いた未来が 幸せな笑顔であふれているように

—— 学生の指導で大切にしていることは。

学生たちには、大学での学びを将来に役立ててほしいと願いながら、社会人として独り立ちできる下地を育ててあげたいという思いがあります。4年生で取り組む卒業研究においても、どうしてこのテーマを扱うのか、その理由や背景をしっかりと自分の中で消化した上で取り組むよう指導しており、自分の中に明確な行動原理を据えることで、社会に出ても揺るぎのない目的意識を持って技術を磨いたり仕事に当たったりすることができるかと話しています。これはどんな職業に就いたとしても、自分を導く根幹となるはずで。

—— 下位先生にとつての「未来のエスキース」とは。

エスキースという言葉も、設計図や概念図という意味で捉えているのですが、今後、私が研究活動に進むべき「未来予想図」であると考えています。これからの未来を生きていく人たちが誰もがハッピーになれるような技術を開発、進歩させていくことこそが、研究者としての私の責務であると思っています。



1 八木山キャンパスに設置しているエネルギーマネジメントシステム 2 高結晶化カーボンナノチューブを使用した平面型発光パネル 3 高結晶化カーボンナノチューブ(写真左)と市販ナノチューブ(右)の電子顕微鏡写真

学生との何気ない会話だったので、それ以上この会話が続きませんでしたが、「これは自分の趣味だ」と自信を持って言える趣味がない自分に少し愕然としてしまい、また少しずつ音楽に接して音楽を趣味と言えぬ人生を送りたい、と思う今日この頃です。



わたしと 趣味

自信を持って答えたい
「音楽」の趣味
「趣味の時刻」

COLUMN
おしえてください
研究者の「こころの中」

最前線の研究をレポート!

LABORATORY REPORT

研究室通信 Vol.30

ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科

こ いわい ひろ のり *Koiwai Hironori*
小祝 慶紀教授

PROFILE

1988年に大学を卒業後、民間企業などを
経て、2008年に法政大学で博士(経済学)の
学位を取得。2011年に本学の工学部環境情
報工学科の准教授に就任し、2014年に同学
部環境エネルギー学科の教授に。2016年か
らライフデザイン学部経営コミュニケーション
学科の教授となり、現在は学部長も務める。
広瀬川創生プラン策定推進協議会の会長、
宮城県ブーメラン協会の代表としても幅広く
活躍の場を得ている。

担当科目

環境経済学、法と経済学、環境関係法、組織
の経済学

【研究テーマ】

環境負荷を低減するための 法制度や社会システムを考察

豊かな社会の実現を目指して経済成長を続けてきたのと同時に、さまざまな環境問題に対峙する歴史を歩んできた近代日本。そんな複雑かつ広範囲に及ぶ環境問題に取り組むために、法や経済という視点から課題解決の方法を模索するのが、小祝先生が説く環境経済学です。持続可能な社会の実現を目標に掲げている今、学生にはまず身近な問題に目を向け、自らの経験から導いた考察を重ねる研究を指導。十分な知識と実力を養い、社会で活躍する人材の育成を目指しています。



小祝研究室のゼミ風景

2人の恩師が励まし支えた 研究者を目指すモチベーション

—— 環境経済学を学ぶまでの経緯を教えてください。

大学では法学部に進学し、憲法研究のゼミで学びました。卒業後、民間企業に入社しました。その後、環境に関わる新たな事業を進める際、自分が環境問題について知識が皆無だったことに気づきました。さらに、当時盛んな議論が行われていたまちづくりについても学びたいと思ったので、法政大学大学院の社会科学研究科に進みました。環境に配慮した経営が当然となっている今、大きく成長した分野になりました。

—— 教員になったきっかけとは。

今でも付き合いが続いている憲法ゼミの恩師や、私が初めての弟子だという大学院の指導教官からの叱咤激励が、研究者の進路を望む自分を力強く支えてくれました。大学の教員は中学校や高校の先生と違って、大人の話ができる学生と時間、空間を共有できる面白さがあると感じています。大学を卒業してすぐ企業に就職し、家庭を持ちながら進学を志しましたが、尊敬する2人の先生たちのように最も社会と近い学生たちと語り合える世界に憧れていたのかもしれない。

経済と環境の関わりを理解し より良き未来へ向かうために

—— 環境経済学とはどんな学問ですか。

かつては、経済活動は環境に負荷をかける主たる原因として、あまり良いイメージがありませんでした。しかし1970年代になると、日本の高度成長期が少し落ち着いていき、経済と環境の両立を考える気運が生まれました。公害問題が政治においても大きな課題となり国会で集中的に審議が行われ、いわゆる「公害国会」によって14の法律が改正されました。それ以前は、経済活動を阻害しない範囲で環境問題に取り組む「経済調和条項」が存在していたのですがほぼ削除され、経済と環境との調和を図る社会へ進んでいきます。それ以降、1980年代まで法律によって環境に関する規制が行われてきました。

国際的には、1972年にヨーロッパ諸国を中心に日・米を含め38カ国の先進国が加盟するOECD(経済協力開発機構)がCO₂排出量に対して環境税を設けることを提唱したことで、環境政策における責任分担の考え方が各国で共通認識となりました。CO₂削減に対する経済的なインセンティブ付与の考え方も浸透していく中、環境問題に対する政策や経済活動の考察を行う環境経済学としての学問が確立されていきました。



—— 研究室ではどんな学びを行なっていますか。

経済学はもちろん、環境に関する法制度や歴史など学ぶべき分野は広範囲に及び、とても複雑です。この研究室では、文献や理論から学ぶことも重視しながら、学生にとって身近な事例に触れてもらうために、研究テーマの下で調査するフィールドワークも実践しています。私が会長を務めている広瀬川創生プラン策定推進協議会の取り組みとして、学生と仙台市職員、まちづくり

コーディネーターで行う「広瀬川探索」は、地域を深く知るための良い機会になっていると感じています。また、本学と明治大学、法政大学の3つの研究室でテーマを共有して現地調査を行なった後、毎年12月に行う討論会も恒例になっています。視察の段取りや質問内容などすべて学生主体で行い、盛んな意見交換により環境経済学の観点で課題解決やまちづくりに関して考察を深めるのが目的です。

理論を学んで実践に勤しみ 自らの夢を描ける確かな実力を

—— 学生の指導で重視していることは。

学生たちには、私の大学院の恩師が語った「環境経済学なんていう学問は、いつか無くなるために我々はやっているんだ」という話をよくしています。COP(締約国会議)は30年以上も開催が続けていますが、いまだCO₂排出量が大幅に減少する流れにはなっていません。これは、環境問題がいかに複雑な事情をはらんでいるかを示しています。だからこそ、若い学生たちには、自分で確かめて、自分で触れて、自分で考えることが大事だということを説いています。そして、考えるための武器として理論がある。理論を十分蓄えた上で、考える力を養ってほしいと話しています。

—— 小祝先生にとっての「未来のエスキース」とは。

私が好きな小説に、喜多川泰著の『賢者の書』という名作があるのですが、その中に“そのとき人間が思い描く将来の完成図、それが『夢』なのだ。”という一節があります。理想の最終形を描くのが夢だとするならば、その手伝いをすることが私にとってのエスキースでしょうか。学生はそれぞれ抱いている夢を自由に描けばいい。いまだ形を成していない未熟な夢に、輪郭を与えてあげるのが私の仕事だと思っています。



1 まちづくりへの参加風景



2 インゼミ参加風景

しかし、世界の温室効果ガス(GHG)の排出量は一向に減る様子はなく、2010年と2019年の期間の年間平均GHG排出量は、過去のどの10年よりも高かった。TPCC第6次評価報告書」ということです。1995年から2023年の第28回まで毎年開催(コロナ禍の2020年を除く)されてきた会議も、もうすぐ30年です。はたして将来世代への約束を達成できるのでしょうか。



わたしと環境問題

いまだ果たされない
未来への約束

1992年5月、国連総会において「気候変動に関する国際連合枠組条約」が採択されました。この国際条約の目的は「大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させ、現在及び将来の世代のために気候系を保護すること(環境省)」です。この目的達成のため、「気候変動に関する国際連合枠組条約締約国会議(以下「会議」という)」の第1回が、1995年ドイツのベルリンで開催されました。1997年の第3回では「京都議定書」によって先進国・地域の温室効果ガス削減の数値目標が採択され、第21回の「パリ協定」は「京都議定書」以来の数値目標が採択されました。

COLUMN
おしえてください
研究者の「こころの中」



ホンネで

教員×学生

Lab Talk!

研究室対談

工学部 電気電子工学科 下位研究室

下位先生 目黒さんは、こちらが話したことを自分の中でよく咀嚼してから思慮深く行動に移すタイプの学生なので、ぜひこの研究室に来てほしいと思っていました。

目黒さん そうだったんですか！ありがとうございます。下位先生は、素晴らしい経歴をお持ちで、とても優秀な研究者なんだという印象を持っていました。

下位先生 そういえば、目黒さんと他2人の学生たちで、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術

下位先生 最終審査は来年の1月ですね。それまでに実験を繰り返してデータを採取し、プレゼンテーション用の資料を作成しなければいけないので、これからが大変ですよ。

目黒さん そうですよ、頑張ります！

下位先生 目黒さんは、入学した当時は教職に就くことを望んでいたようですが、それは今も変わらないですか？



工学部 電気電子工学科4年

めぐろ ふみや
目黒 芙実也さん

工学部 電気電子工学科

しも い のり ひろ
下位 法弘教授

リチウムイオン蓄電池の
技術・社会課題に挑む
公募型のコンテストで
確かな実力を養い
未来を担う技術者に。

総合開発機構)の懸賞金型活用応募プログラムに応募していましたよね？

目黒さん はい、「リチウムイオン蓄電池の回収システムに関する研究開発」に関するコンテストに参加しました。私たちは「アルカリ水溶液を利用し発火リスクを無効化にすることで安全に解体処理を可能としたリチウムイオン電池回収用小型装置の開発」という内容で書類を提出したんですが、先日、一次審査を通過したという連絡が届きました。

下位先生 大学だけでなくさまざまな業種や分野から多数の応募があり、その中から一次審査を通過するのは5件だけなので、やりましたね！

目黒さん はい、下位先生にはレポートの作成で多大なご協力をいただき、本当にありがとうございました。

目黒さん いえ、今はこの研究室で学んだことを活かして、電気自動車に搭載する駆動用バッテリーの開発に関わる仕事がしたいと思っています。

下位先生 研究職が希望？

目黒さん それがベストなんですけど、これからますます開発が進んでいくであろうと予想される電気自動車の製造現場に立ち会い、自分の学びを役立てることにやりがいが見られると思っています。

下位先生 向かうべきベクトルが揺るがないのであれば、どのように進んでいっても必ず良い結果を得られると思いますよ。

目黒さん はい！まずは、最終審査に向けて、他の2人と一緒に実験と資料作成に力を入れていきたいと思っています！

研究活動を通して、日々繰り返されている先生と学生の対話。
そんなお互いのリスペクトに満ちたトークに耳を傾けてみませんか。

過去の対話は
こちらから！



ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 小祝研究室

小祝先生 大沼さんは、「経営コミュニケーション学総合演習II」で取り組んでいる仙台市百年の杜推進課と行う「広瀬川探索」に参加してもらいましたよね。

大沼さん はい、3年生の時に参加しました。

小祝先生 メンバーで女性は1人だけだったので、印象に残っています。

大沼さん 以前から、環境とまちづくりに関して興味があったので、ぜひ参加してみたいと思っていました。仙台

大沼さん 正直、先生のお話はいつも脱線することが多くて、理解が追いつかなくて苦労しています…。

小祝先生 1つのテーマについて話すと、前提知識として過去の事例や統計データ、法制度などを伝えておきたくて…。思わず板書にも熱がこもってしまうんです。

大沼さん 眠気に負けず、頑張って先生の話についていこうと思います。

小祝先生 卒業後の進路は考えている？



ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科4年

おおぬまももは
大沼百々葉さん

ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科

こいわいひろのり
小祝慶紀教授

論理の習得だけでなく
自身の足で歩み
肌で感じた経験を
学びの糧にできる
地域の担い手を輩出。

市建設局百年の杜推進課のスタッフや地域の有識者から興味深いお話も聞けて、とても良い経験となりました。

小祝先生 普段は見過ごしてしまうようなエリアを歩くので、広瀬川流域の自然や環境を知るのに絶好の機会だったと思いますよ。

大沼さん 散策が終わった後、アイスクリームをおごってもらったのもうれしかったです。

小祝先生 もしかして、この研究室を選んできた決め手はそれ？

大沼さん いえいえ！環境問題やまちづくりについて、もっと深く学びたいと考えていたので、以前から小祝先生の研究室を志望していました。

小祝先生 今ではゼミ長を務めてくれているので、来てくれてこちらもうれしいです。ゼミの活動はどうですか？

大沼さん 本学への志望動機が、起業に必要な経営学や組織論などの知識を習得したかったからなんです。2年次に「地域創生論」の講義を通じて地域のまちづくりに貢献している起業家の方々から話を聞く機会があり、私も同じように地域に根ざして活躍したいと思うようになりました。

小祝先生 近年、消滅自治体や限界集落の問題が深刻化していますが、まだまだ地方には発展の可能性が秘められていると考えています。志を持った若い人たちが地域の魅力を再発見してくれることが地域の活性化につながると思うので、ぜひ大沼さんにも活躍してほしいと願っています。

大沼さん はい、私が輝ける場所を見つけて頑張りたいと思います！

地域連携センター【CRC: Center for Regional Collaboration】

地域の課題解決や活力創出に貢献するべく事業を展開しています。

◆宮城県美術館との連携事業でまちなかワークショップを開催

8月3日(土)・4日(日)にサテライトキャンパス一番町ロビー1Fギャラリーで東北工業大学×宮城県美術館 まちなか連携事業、夏休み親子ワークショップ「一番町ギャラリー、もりもり大変身!? みんなでつくろう! 森といきものたち」を開催しました。

3日午前中は事前申込みで集まった親子4組が、ダンボールや新聞紙、そしてクラフトテープなど、身近な材料を使って動物や昆虫などのいきものを作り、木を作ったり、壁に木や花の装飾をしたり、一番町ギャラリーを森に変身させました。

ワークショップでは、本学の公認団体「たまごくらぶ」(デザイン愛好会)を中心とした学生有志が、宮城県美術館教育普及部の職員の指導を受けながら小学生たちに作り方を教え、制作のサポートをしました。

今回初の試みとなった連携事業でしたが、大好評の中終えることができました。



ワークショップの様子

◆2024年度 仙台七夕まつり 七夕飾り付け個人審査で 学生が制作した七夕飾りが銅賞を受賞



七夕飾りと制作した学生有志

8月6日(火)、仙台七夕まつりの七夕飾り付け個人審査が行われ、本学の公認団体「たまごくらぶ」(デザイン愛好会)を中心とした学生有志が制作した七夕飾りが銅賞を受賞しました。昨年に続き2年連続の受賞となりました。

七夕の鳥とされる「カササギ」。織姫と牽牛が天の川を渡るときたくさんのカササギが翼を広げて川に橋を架け、橋を渡したという伝説があります。今年はカササギの尾を吹き流しで表現しました。

◆令和6年度市民公開講座の紹介 2024年6月7日(金)～2025年2月7日(金)

令和6年度のオンライン市民公開講座は6月7日(金)より開講しています。本学は2024年4月に、60周年を迎えました。科学技術の急進や社会・環境の変化に敏感に対応し、東北工業大学ならではの学びの場、より良い未来と暮らしへの知をつなぐ場を皆さまに提供していきます。

※講座はWeb会議システムZoom(ズーム)で受講することができます。事前申込み制で、参加費無料です。

全講座オンライン配信



令和6年度 東北工業大学「市民公開講座」スケジュール(10～11月)

開催予定日	時間帯	学科・センター	職位	講演者	講座題目
10月18日(金)	18:00～19:15	建築学科	教授	許雷	建築設計におけるAIとBIMの応用
10月25日(金)	18:00～19:15	情報通信工学科	教授	富田 勲	現代エレクトロニクス 電子&フォトリック・デバイスの研究から応用まで
11月8日(金)	18:00～19:15	総合教育センター	准教授	クックサイモン	現代イギリス社会[高大連携事業講座]
11月15日(金)	18:00～19:15	情報通信工学科	教授	鈴木 健一	GPSより正確に位置を知る

※講座題目は変更になる場合がございます。ご了承ください。



研究支援センター【RSC: Research Support Center】

企業及び各種団体との共同研究や受託研究を推進し、科研費等の外部資金研究開発推進等を行っています。

◆未来のエスキースを描く。東北工業大学『東北SDGs研究実践拠点』 産学連携交流会～研究シーズ発表会～を開催

8月2日(金)に、江陽グランドホテルにて「未来のエスキースを描く。東北工業大学『東北SDGs研究実践拠点』産学連携交流会～研究シーズ発表会～」が開催されました。企業・産業支援機関等の外部参加者ならびに本学教職員、学生を含め約130名が参加しました。

第一部講演会では渡邊 浩文学長より主催者挨拶がなされ、みやぎ産業振興機構 理事長 遠藤 信哉 様より祝辞が述べられました。その後、「東北工業大学の研究実践拠点」について石井 敏 副学長より概要説明がありました。次に11のプロジェクト研究所から所長及び教員によるシーズ発表が行われ、各研究所の研究成果について

紹介されました。また、特別枠の大学発ベンチャー発表として、電気電子工学科 鈴木 郁郎 教授より「東北工業大発ベンチャー(株) VitroVoの設立と展望」について発表が行われ、設立背景や研究活動について説明がありました。

第二部交流会では研究所やベンチャーのパネルブース展示が行われ、参加者同士交流を深める貴重な機会となりました。本学では、このような交流の場を大切にして東北工業大学『東北SDGs研究実践拠点』研究事業、実践活動の活性化を皆様と共に取り組んでいきます。



第一部講演会会場全体の様子



主催者挨拶
学長 渡邊 浩文



祝辞
みやぎ産業振興機構 理事長 遠藤 信哉 様



東北SDGs研究実践拠点の概要
副学長・建築学部長 教授 石井 敏



研究実践拠点のシーズ発表: 気候危機・対策技術研究拠点
グリーンイノベーション研究所 所長
環境応用化学科 教授 加藤 善大
「水電解による水素製造のための酸素発生電極の創製」



研究実践拠点のシーズ発表: 気候危機・対策技術研究拠点
東北景観研究所 所長
建築学科 准教授 不破 正仁
「東北の景観とその保全のあり方」



研究実践拠点のシーズ発表: 気候危機・対策技術研究拠点
プレアデザイン研究所 所長
生活デザイン学科 准教授 高木 理恵
「みやぎ環境デバイスの実証と建物の環境性能の評価」



研究実践拠点のシーズ発表: Society 5.0研究拠点
材料デバイス研究所 / 電気電子工学科 教授 下位 法弘
「機能性電子材料の開発から電子・光・情報デバイスへの応用に向けて」



研究実践拠点のシーズ発表: Society 5.0研究拠点
知能ロボティクス研究所 所長
電気電子工学科 教授 藤田 豊己
「生活や地域に貢献するロボット技術の開発」



研究実践拠点のシーズ発表: Society 5.0研究拠点
IoTテクノロジー研究所 所長
情報通信工学科 教授 袁 巧微
「IoTセンサーにおけるデータおよび電力の同時無線伝送」



研究実践拠点のシーズ発表: 医工学・健康福祉研究拠点
認知症の人と環境研究所 所長
生活デザイン学科 准教授 谷本 裕香子
「認知症の人の声を環境づくりに反映させる」



研究実践拠点のシーズ発表: 医工学・健康福祉研究拠点
北欧デザイン研究所 所長
副学長・建築学部長 教授 石井 敏
「北欧・フィンランドを知り、日本を知る」



研究実践拠点のシーズ発表: 医工学・健康福祉研究拠点
Well-Being研究所 所長
経営コミュニケーション学科 教授 金井 辰郎
「幸せな人生・職場・社会をめざして」



研究実践拠点のシーズ発表: 地域・地場産業振興研究拠点
生業景デザイン研究所 所長
生活デザイン学科 教授 大沼 正寛
「景観資源としての東北の生業景」



研究実践拠点のシーズ発表: 地域・地場産業振興研究拠点
地域の暮らし共創デザイン研究所 所長
生活デザイン学科 准教授 伊藤 美由紀
「共に新たな価値を創り自律した暮らしを!」



大学発ベンチャー発表
電気電子工学科 教授 鈴木 郁郎
「東北工業大発ベンチャー(株) VitroVoの設立と展望」



閉会挨拶
副学長・電気電子工学科 教授 小林 正樹



第二部交流会の様子

◆第39回北海道科学大学・東北工業大学 総合定期戦を開催

8月20日(火)、21日(水)に、第39回北海道科学大学・東北工業大学総合定期戦を開催しました。この総合定期戦は両大学の間に根付いた歴史と伝統を背景に、スポーツ競技を通じて絆を深める貴重なイベントです。

今年は、北海道科学大学体育館メインアリーナなどを会場に、12競技13種目の熱戦が繰り広げられ、接戦の末、7勝6敗で本学が総合優勝を飾りました。



学生委員長
たかの あつし
高野 淳司 教授

今大会は、本学から約160名の学生と25名の指導者・教職員が参加しました。学生たちはフェリーでの移動疲れもものともせず、それぞれの種目で勝利を懸けた熱戦を繰り広げました。総合優勝の行方は最後の種目までもつれ込み、最終的には7勝6敗と僅差ではありましたが2008年以来となる総合優勝を勝ち取ることができ、学生、教職員一同とても心に残る大会となりました。来年は40回記念大会となり、再び北海道での開催となりますが、区切りの大会を連覇で飾れるよう各クラブの頑張りに期待したいと思います。

種目	試合結果	
サッカー	2-1	東北工業大学 WIN
ソフトテニス	3-0	東北工業大学 WIN
硬式テニス	3-4	
バスケットボール	91-81	東北工業大学 WIN
剣道	1-2	
柔道	4-0	東北工業大学 WIN
アメリカンフットボール	6-22	
男子バレーボール	3-0	東北工業大学 WIN
女子バレーボール	2-0	東北工業大学 WIN
ハンドボール	18-24	
弓道	40-37	東北工業大学 WIN
バドミントン	2-9	
卓球	2-5	
総合成績	7勝 6敗	



定期戦に参加したみなさま、お疲れ様でした。そして、16年ぶりの総合優勝、本当におめでとうございます!! 一人ひとりのプレーが、一人ひとりの応援が一つになりチーム工大全員で勝ち取ったものだと思います。

また、様々な社会状況乗り越えてきた歴史あるこの総合定期戦を紡ぐ一員となれたことがうれしいです。さて、来年も同じく札幌での決戦です。我々チーム工大は今年の勢いそのままに今度は私たちが連勝記録を伸ばしましょう!!



課外活動連合委員会局長
建築学部 建築学科 3年
かさい きょうや
葛西 京也さん

今年の総合定期戦は7勝6敗で接戦の末、16年ぶりに優勝旗を持ち帰ることができました。総合定期戦の二日間はもちろん、それまでの期間、学部学生会として関わらせていただきましたが、両大学の選手の皆さんは全身全霊でプレーをしており、コロナ禍で行われていなかったことを感じさせない程、素晴らしい試合をされていたと思います。また、この様に充実した定期戦を開催できたのも、運営委員並びに実行委員の皆様のご尽力の賜物です。今後も両大学の絆が深まることを願っています。



学部学生会長
工学部 電気電子工学科 3年
まつもと けい
松本 慶さん



◆第47回千葉工業大学硬式野球部定期戦を開催

千葉工業大学と行っている第47回硬式野球部定期戦が、8月17日(土)に千葉工業大学の茜浜球場で開催されました。昨年は悪天候でしたが今年は快晴の中で無事定期戦を行うことができました。

本学先発ピッチャーの仁田 滉人さん(生活デザイン学科4年)は、2回に3連打を浴び失点を許すも、その後は状態を立て直し、5回1失点と堂々のピッチングを見せました。打撃では初回1死1・3塁のチャンスで4番鎌田健太郎さん(生活デザイン学科4年)の先制タイムリーにより一挙3得点を挙げました。その後も1試合でチーム安打17本と打線がつながり14-6で勝利を収めることができました。

試合後の懇親会では選手同士が親交を深め、互いの秋季リーグでの活躍を誓いました。今年は昨年のリベンジを果たすことができました。



開催概要

- ◆ 令和6年8月17日(土)
- ◆ 場所: 千葉工業大学茜浜球場
- ◆ 結果: 東北工業大学14-6千葉工業大学
- ◆ 参加者: 小幡総監督、目黒監督、荻原ヘッドコーチ、阿部コーチ、部員34名



ライフデザイン学部 生活デザイン学科 2年
あびこたかま
硬式野球部マネージャー 安孫子 拓磨さん

Pick up!

工大クラブ・サークルFILE

体育会系・文化系あわせて50を超えるクラブ・サークルが活動中です。ピックアップしてご紹介します。

FILE

13

個性豊かな部員と楽しい大学生活を!

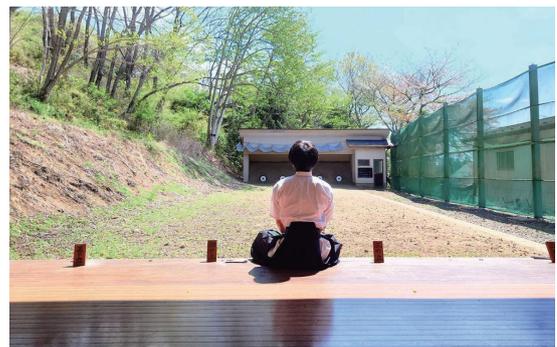
弓道部

ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 3年
すだ そうた
主将 須田 颯太さん

弓道部は30名で活動をしています。集合練習は週3回(平日2回・土曜日の午前中1回)で場所は長町キャンパス弓道場です。目標は男女ともにリーグ戦の昇格です。

集合練習の時間はそれほど多くないのですが、自主的に練習をする部員も多く、みんな積極的に取り組んでいます。また、学生同士の交流も大切にしており、部内でイベントを企画したり、練習中も見合い稽古で改善点を指摘しあったりしています。弓道なんて今から始めても周りに追いつけるのか、不安に思う人もいると思いますが大丈夫!今年度の新入部員の8割は弓道未経験です。練習を頑張れば、1年生から部の主力メンバーになるチャンスもあります。入部資格は弓道に興味がある人!初心者・経験者、男女問いません。

少しでも興味がある人はInstagram(@tohtech_kyudo)のフォローをお願いします。見学もできるので気軽にDMを送ってください。



キャンパス通信

◆「OPEN CAMPUS 2024」を開催

6月から8月にかけて2024年度オープンキャンパスを開催しました。第1回6月22日(土)、第2回7月20日(土)、21日(日)、第3回8月24日(土)の総来場者数は2,805人でした。

課程・学科企画や模擬講義、キャンパスナビゲートなど本学の特色を紹介した他、入試対策として3年生向けの2024年度入試対策講座も行いました。アンケートに答えてくれた人には、本学オリジナルグッズをプレゼントしました。

オープンキャンパス当日の様子は、本学Webサイト、公式Instagramをご覧ください。



2024年度オープンキャンパスの様子はこちら
<https://www.tohtech.ac.jp/admission/opencampus/report/>



公式Instagramはこちら
https://www.instagram.com/tohtech_official/



入試対策講座



課程・学科企画



クラブパフォーマンス

◆情報通信工学科 4年 嶋津 弘太郎 さんが学長より表彰状を授与

6月26日(水)、工学部 情報通信工学科 4年 嶋津 弘太郎 さん(角田 裕 研究室)が、昨年度のサイバーボランティア活動で嶋津さんが行った通報をきっかけとして事件が検挙された功労を称え、学長より表彰状を授与されました。

6月13日(木)には、宮城県警察本部サイバー犯罪対策課長から感謝状が贈呈されています。以下嶋津さんのコメントです。

私のサイバーボランティア活動で県警察に提供した情報が端緒となり事件が検挙されたこと、そして学長表彰を受けたことは、とてもうれしく光栄に思っています。このことを私やほかの参加者のモチベーションアップや活動の促進につなげていきたいと思います。



左から角田 裕 教授、嶋津 弘太郎 さん、渡邊 浩 学長、佐藤 篤 教授

◆「28th Joint Concert」を開催

9月15日(日)、本学吹奏楽部と宮城学院女子大学ウインドオーケストラ部による「28th Joint Concert」を東北大学百周年記念会館「川内萩ホール」で開催しました。このジョイントコンサートは、1986年に当時の両大学の部員同士の繋がりからスタートし、その後2010年(第25回)まで続いていましたが、東日本大震災やコロナ禍の影響でしばらくの間途絶えていました。2年前、再び学生同士の交流をきっかけに復活を果たし、今回で通算28回目を数えます。

当日は、第1部で本学吹奏楽部がポップス曲などを、第2部では宮城学院女子大学がクラシックやアニメソングなどを華やかに奏でました。第3部の両大学合同演奏ステージでは、70名以上の迫力のある音で会場を沸かせ、最後は会場が一体となる盛り上がりの中で幕を閉じました。



コンサートの様子

◆「キャリアデザインI」における名取市PBLの成果報告会を開催

7月5日(金)、長町キャンパスで、名取市の地域課題を題材とした課題解決型学習(PBL:Project Based Learning)の成果報告会を開催しました。本学は、学部1年生から3年生の学生を対象として、学生自らの力でキャリアをデザインする能力や社会人基礎力を養成する必修授業「キャリアデザインⅢ」を開設しています。その一環として、1年生対象の「キャリアデザインI」の授業では、地方自治体が実際に抱える課題をテーマとして、授業内のグループワークで課題の解決策を考え、企画のプレゼンテーションを行うプログラムを取り入れています。

今年度の「キャリアデザインI」では、名取市にテーマの提供に協力してもらい、1年生約800名弱が各学科内で数人ずつのグループに分かれ、名取市が抱える課題の解決策を作成しました。6月後半までの授業中に、参加学生の投票で予選を行い、各学科の代表チーム(計8チーム)を選出しました。

7月5日(金)の成果報告会(プレゼンテーション決勝戦)では、名取市の山田 司郎 市長と瀧澤 信雄 教育長にお越しいただき、本学

からは渡邊 浩文 学長、石井 敏 副学長をはじめ、学生・教職員等約80人が参加しました。各学科代表チームの学生は、自らの調査結果や提案内容について、丁寧に熱意を込めてプレゼンテーションを行い、厳正な審査の結果、最優秀(第1位)の「名取市長賞」には、工学部 電気電子工学科の代表チームが選ばれました。



成果報告会後の記念写真

◆本学公式YouTubeチャンネルに「学生を育てる教育力」の動画を公開

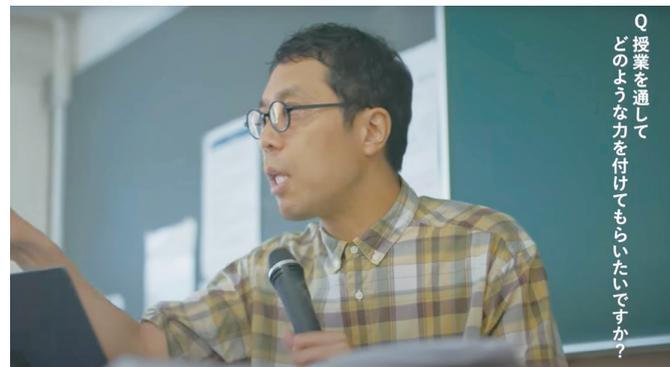
本学公式YouTube「TOHTECH CHANNEL」では、「学生を育てる教育力」の動画を公開しています。本学の教員が、学生の力を伸ばすためにどのようなことを考え、工夫し、日々の授業を作り上げているのか、またそこからどのような力を身に付けて欲しいと願っている

のかなど、授業を受講する学生の声を交えながら語っています。

今回、シリーズ第4弾として工学部 情報通信工学科 木戸 博 教授と建築学部 建築学科 不破 正仁 准教授の動画を公開しました。ぜひご覧ください。



工学部 情報通信工学科 木戸 博 教授



建築学部 建築学科 不破 正仁 准教授



学生を育てる教育力

<https://www.tohotech.ac.jp/outline/public/channel/#education>



2025年4月に北海道・東北地方の工科系大学で初めて
工学部を学科制から「課程制」へ移行します。

また、ライフデザイン学部のさらなる発展のため、学部としての一体化を目指します。経営コミュニケーション学科を「経営デザイン学科」に名称変更するとともに、副専攻制を導入します。

詳しくは
こちら



◆令和6年度東北工業大学奨学生について

令和6年度の東北工業大学奨学生は、学業最優秀奨学生8名、学業優秀奨学生19名、学業一般奨学生161名、課外活動一般奨学生5名が奨学生として決定いたしました。(合計193名:実数)

選考人数は、各学科の学生数に概ね比例していますが、課外活動奨励奨学金は学科枠に関係なく選考されました。

【学業奨励奨学金】

●学業最優秀奨学生(8名)

電気電子工学科 4年 高橋 央輔	情報通信工学科 4年 白石 光汰
建築学科 4年 渡辺 陸斗	都市マネジメント学科 3年 渡邊 大桜
環境応用化学科 3年 橋本 麗菜	産業デザイン学科 3年 高橋 朋也
生活デザイン学科 4年 五十嵐 菜々	経営コミュニケーション学科 2年 千葉 善大

●学業優秀奨学生(19名)

電気電子工学科 4年 佐々田 大望 3年 味岡 陽翔 2年 佐藤 功宜	情報通信工学科 4年 佐藤 楓 3年 伊藤 貴太 2年 高橋 康丞	建築学科 4年 八島 溪哉 3年 庄子 諒 2年 高梨 晃成	都市マネジメント学科 4年 佐藤 大紀 2年 森 美怜
環境応用化学科 4年 高橋 晴樹 2年 山崎 勇飛	産業デザイン学科 4年 柴田 沙和 2年 新関 隼	生活デザイン学科 3年 宮川 紗依 2年 川崎 小雪	経営コミュニケーション学科 4年 高橋 花恋 3年 廻立 晃誠

●学業一般奨学生(161名)

電気電子工学科	情報通信工学科	建築学科	都市マネジメント学科	環境応用化学科	産業デザイン学科	生活デザイン学科	経営コミュニケーション学科
4年 佐々木 悠人 佐藤 明 永澤 颯太 目黒 芙美也 森山 諒大 山口 雄士朗 郷古 翼 小番 琉稀 滝口 智稀 塚本 雄大 二瓶 脩大 宮田 唯統 吉崎 優真	4年 小熊 健太 今野 翼 佐藤 悠冬 鈴木 陸大 岩井 涉 菊池 麻友 佐次 寛昇 千葉 祐輝 林崎 裕太 松本 太智 3年 福田 結也 松浦 行成 太田 里太 松崎 翔大 2年 遠藤 一希 窪 舞人 佐藤 琉雅 渋谷 美月 半崎 風樹 二ツ森 理久 三浦 なお 富田 悠佑 鷲谷 日祐生 江川 くるみ 佐藤 柚香 左右田 光彩 坊良 一輝	4年 菊池 一輝 早坂 悠亮 松田 凌真 笠松 瑞葉 笹原 優伽 白藤 大瑚 鈴木 咲里花 千葉 洸暉 3年 赤坂 彪真 大石 実優 草薨 桃佳 櫻井 琴音 佐藤 瞳衣 高橋 凜 2年 星川 直輝 新井 勇貴 大宮 月 金田 諒 佐藤 菜太 武内 紀乃 谷田 任 伏見 総太 菅野 優祐 日下 那由汰 齋藤 音花 佐藤 美春 高橋 陽向 高橋 菜唯 武石 龍樹 田中 稜輔	4年 飯野 温大 小野寺 翔 児玉 睦希 石川 蒼人 原田 圭 3年 中山 心暖 小野寺 涼 久保 咲大 熊谷 康義 佐藤 悠 2年 飯田 翔太 鈴木 陸仁 須藤 綺竜	4年 青木 玲穂 齋藤 蒼士 3年 浦田 愛菜 新関 郁美 奥山 大聖 2年 青木 優美 櫻井 望 佐藤 瑞華 福田 宝良 三浦 友樹	4年 安彦 美都 小澤 稜 工藤 世丞 前野 ひなき 飯塚 光琉 柏谷 祭喜 永野 紫陽 3年 加茂 凜々子 西城 碧泉 松田 陽菜 佐藤 雪乃 高柳 風牙 柳澤 京吾 2年 青野 真帆 齋藤 あい 千田 結月 小野寺 彩水 千葉 瑞希	4年 嶋田 紗華 赤平 月 泉 伶明 佐藤 未悠 3年 蛸名 結女 大山 翔太 小野寺 恵里奈 神田 芳純 菊田 直央 高橋 理那 早川 宙来 阿部 彩夏 三浦 百花 2年 石川 凜 大内 凜 大里 貴太 滝田 彩華 松本 真希	4年 伊藤 透矢 橘 優衣 沼田 穂香 岩瀨 楓 高野 駿 中道 千真 野村 歩聖 松樹 優佑 3年 伊藤 拓真 遠藤 祥太郎 菅野 桃果 伊藤 隆誠 高峯 瑠歌 2年 齋藤 美波 畠山 世那 早坂 美優 三浦 悠太 渡邊 青瑚 松岡 崇仁

【課外活動奨励奨学金】

●課外活動一般奨学生(5名)

学科	学年	氏名	活動内容
都市マネジメント学科	4年	須藤 結子	第64回全日本理工科学生柔道大会 女子個人の部 第3位
産業デザイン学科	4年	永野 紫陽	JAGDA国際学生ポスターアワード2023 入選
	3年	加藤 めぐみ	OAC学生広告クリエイティブアワード2023 全日本空輸株式会社アワードグラフィック部門グランプリ
経営コミュニケーション学科	3年	鈴木 悠斗	令和5年度東北地区大学準硬式野球連盟 秋季リーグ戦 1部リーグ ベストナイン
生活デザイン学科	2年	菅井 停平	令和5年仙台六大学野球秋季リーグ 優秀新人賞 ベストナイン

Event

10~12月の一番町ロビー催事案内

サテライト
キャンパス

一番町ロビー
X(旧Twitter)

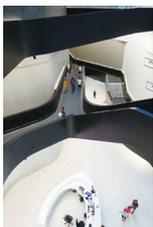


●開館時間/10:00~17:30(最終日は16:00まで) ●休館日/水・木曜日 ●入館料/無料

●写真は建築・まちをうつせるのか

主催:東北工業大学 生活デザイン学科 島山ゼミ
共催:she | design and research office, 東北大学 佃研究室
10月4日(金)~8日(火)

建築やまちは社会と常に呼応し変容します。そのような建築やまち、そこにいる人、空気、をいかに撮るか。これまで写真家、学生、研究者、設計者などさまざまな立場の方とともに「記録すること」について考えてきました。「写真」を通して建築とまちとの向き合い方を一緒に考えます。



<関連イベント>

- ・1F:10月5日(土)14:00~ギャラリートーク
- ・2F:10月7日(月)15:00~トーク「建築と写真」

●佐藤俊一郎 個展

主催:佐藤俊一郎(東北工業大学 工業意匠学科1974年卒業)
協力:東北工業大学 産業デザイン学科 篠原良太研究室
10月11日(金)~15日(火)

日常の出来事や光景をモチーフに、心のフィルターを通して表現した抽象画を中心に展示を行います。



●ザ☆クラフターズミーティング2024 [3rd Party]

主催:ザ☆クラフターズ
10月18日(金)~22日(火)

楽器を「奏でる」だけでなく「作る」ことにも楽しみを見つけてしまった仲間たちで結成した「ザ☆クラフターズ」。今回は「3rd Party」と題し、集大成のつもりで臨みます!



●wardrobe / 3DCGによるグラフィックデザイン

主催:喜藤 恋/久壽米木 七千果・菊地 理久・千葉 大暉(東北工業大学 産業デザイン学科 3・4年生)
10月25日(金)~29日(火)

フィルム写真を中心に構成した一人展と、3DCGによるグラフィックデザイン三人展の合同展。それぞれの個性を感じながら、同じ空間に異なる分野の作品を展示することで新たな発見が得られる空間になっています。



●内面から作るキャラクターデザイン展

主催:郡司 李呼(東北工業大学大学院 デザイン工学専攻)
11月1日(金)~5日(火)

大学院で取り組んでいる「自己理解のためのキャラクターデザイン」という研究で制作したイラストを展示。この研究は、従来のキャラクターデザインとは異なり、人の性格情報から色や形を当てはめてキャラクターを制作します。



●産業デザイン学科の木工デザイン 2024

主催:東北工業大学 産業デザイン学科(指導教員:教授 梅田弘樹)
11月8日(金)~12日(火)

産業デザイン学科では、プロダクトデザイン分野の学びの一環として、家具などの木工製品の制作を行っています。本展では、3年生向け実習課題の中で制作された木工作品と、そこで用いた技術を紹介し、「作る技術を知ることから新たな発想を得る」というデザインの真髄をぜひご堪能ください。



●税金インフォグラフィックス展

主催:柴田 沙和(東北工業大学 産業デザイン学科 4年生)
11月15日(金)~19日(火)

卒業制作として取り組んでいる、税金をテーマにしたインフォグラフィックスの展示会を開催します。インフォグラフィックスとオリジナルキャラクター「ゼイリアン」を小冊子やポスター、映像に展開し、税金を分かりやすく、楽しく表現します。



●Me | Other 展

主催:秋葉 美緒(東北工業大学大学院 建築学専攻)
11月22日(金)~26日(火)

「自己と他者の曖昧さ」をテーマにした展示です。自己と他者と生きること、今を生きていることについて考えたことを制作と展示を行き交いながらあらわします。自己対話を通して、曖昧でわからないものについて考えをめぐらせるきっかけになればと思います。



●わびさびとか言うとりますけど、展

主催:たまごくらぶ(東北工業大学 デザイン愛好会)
11月29日(金)~12月3日(火)

日本文化の魅力を紹介しつつ、工大生が地域の人に向けて、イラスト・3DCG・手作り雑貨・映像など、さまざまなデザインの分野から、和×デザインの魅力を伝えます。



Schedule

2024年度10月~1月の
主な行事予定

- 10月
- スポーツ大会 11日(金)
 - 大学祭 (ミニオープンキャンパス) 12日(土)・13日(日)
- 11月
- AOVA選抜 1日(金)
 - 父母懇親会(仙台) 9日(土)
 - 指定校推薦型選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、編入学選抜 22日(金)
- 12月
- 専門学科・総合学科選抜、公募制推薦型選抜、公募制推薦型女子特別選抜 11日(水)
 - 冬季休業 23日(月)~1月7日(火)
- 1月
- 大学入学共通テスト 18日(土)・19日(日)
 - 後期定期試験 28日(火)~31日(金)



第49回工大祭『祭高潮』
2024年10月12日(土)・13日(日)

最高潮には「感情や雰囲気などがこの上なく高ぶり、物事がその極みに達して盛んである状態」という意味があります。「最」を「祭」に変え、第49回工大祭が「みなさんの心に残る祭りの1つになってほしい」という願いと、大学祭に関わっていただくすべての方々と共に「この上ない高揚感を感じてもらえる工大祭をつくりあげたい」という想いを込めました。みなさんと一緒に「祭高潮」という気持ちを共有できたらと思います。※詳細については、第49回工大祭Webサイトをご確認ください。



- 第49回工大祭『祭高潮』
- ◀ Webサイトはこちら <https://www.tohtech-gakuensai.com/49th>

東北工業大学創立60周年記念

ホームカミングデーを開催しました

ありがとう5号館・さようなら5号館!

6月29日(土)、八木山キャンパス1号館131教室にて、東北工業大学創立60周年記念ホームカミングデー「ありがとう5号館・さようなら5号館」を開催しました。

渡邊 浩文 学長の挨拶の後、1968年に竣工し宮城県沖地震(1978年)や東北地方太平洋沖地震(2011年)を乗り越え、今夏より解体作業が始まる八木山キャンパス5号館の軌跡を石井 敏 副学長・建築学部長が紹介しました。

続いて、志田 正男 名誉教授、菊地 良覚 名誉教授から5号館で過ごした日々の思い出を語っていただきました。さらに会場にお越しいただいた名誉教授の先生方からも5号館での様々なエピソードが語られました。

その後、本学吹奏楽部と宮城学院女子大学ウインドオーケストラ部の合同演奏が披露され、会場全体が学生たちの演奏に聴き入っていました。



渡邊 浩文 学長



志田 正男 名誉教授



菊地 良覚 名誉教授



吹奏楽部と宮城学院女子大学ウインドオーケストラ部の合同演奏

式の終了後は、取り壊し前の5号館と2022年に完成した実験・教育棟Tech-Labの見学会を実施し、多くの卒業生が思い出深い5号館の屋上から地下までを見学して回りました。5号館の壁や床には、ライフデザイン学部 産業デザイン学科の学生たちが当日のためにペイントした絵が各所に描かれていて、入口の壁に描かれた「ありがとう5号館」の文字の周りには、卒業生や来場者に5号館への感謝や思い出を寄せ書きしてもらいました。



表紙の声



工学部 電気電子工学科4年
めくろ ふみや
目黒 芙実也さん

卒業後は、電気自動車用バッテリーの開発に関わる仕事がしたいと話す目黒さん。NEDOの懸賞金型活用応募プログラムで取り組んだ経験を糧に、夢の実現に向けて頑張っています。

東北工業大学 ブランドスローガン

未来の
エスキースを
描く。

このブランドスローガンは、本学の建学の精神に基づく基本理念を端的に表現するとともに、本学が歩むべき未来への強い意思を表すものとして2022年に制定しました。

本誌「LABORATORY REPORT」では、本学教員それぞれが描く「未来のエスキース」についても語ってもらい、その信念や展望に迫ります。

工大広報 No.315 2024年10月1日発行(年4回発行)

発行:東北工業大学

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35番1号

TEL:022-305-3144(入試広報課)



バックナンバーは
本学Webサイトより
ご覧いただけます。



公式X
@tohoku_koudai



公式Instagram
@tohtech_official

<https://www.tohtech.ac.jp/outline/kodaikoho/>



東北工業大学ブランドサイト
<https://www.tohtech.ac.jp/brand/>